

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 8 月 20 日(2024.8.20)

【公開番号】特開 2024-96905(P2024-96905A)
【公開日】令和 6 年 7 月 17 日(2024.7.17)
【年通号数】公開公報(特許)2024-132
【出願番号】特願 2024-66115(P2024-66115)
【国際特許分類】

A 6 1 K 31/44(2006.01)

10

A 6 1 K 39/395(2006.01)

A 6 1 K 45/00(2006.01)

A 6 1 P 43/00(2006.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 P 35/04(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/44

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

20

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 K 39/395 D

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 8 月 9 日(2024.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レゴラフェニブと、アベルマブ(MSB0010718C)とを含む組み合わせ医薬。

【請求項 2】

互いに分離した成分を含む組み合わせパックである、請求項 1 に記載の組み合わせ医薬

。

【請求項 3】

同じ疾患の治療に使用するために、成分が別々の剤形で同時にまたは連続して投与される、請求項 1 または 2 に記載の組み合わせ医薬。

40

【請求項 4】

過剰増殖性障害治療用薬剤として使用するための、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の組み合わせ医薬。

【請求項 5】

過剰増殖性障害が、乳房の癌、気道の癌、脳の癌、生殖器官の癌、消化管の癌、尿路の癌、目の癌、肝臓の癌、皮膚の癌、頭頸部の癌、甲状腺の癌および副甲状腺の癌ならびにそれらの遠隔転移からなる群から選択される、請求項 4 に記載の組み合わせ医薬。

【請求項 6】

過剰増殖性障害が、肛門癌、結腸癌、大腸癌、食道癌、胆嚢癌、胃癌、膵臓癌、直腸癌

50

、小腸癌、および唾液腺癌からなる群から選択される、請求項 4 に記載の組み合わせ医薬
。

10

20

30

40

50